

秋田県商工会地域景況判断ボード

平成25年1月～3月期

概況 全体的に弱い動きが続く

【全体】 業況DI 値は前回▲24.5から▲30.4 と5.9ポイント悪化した。南部地域は改善傾向にあるものの、中央部地域が大幅に悪化した。業種別では、小売業が依然として最も厳しい状況にあり、その他業種も悪化している。燃料費の高騰や大雪による客足減少などが影響を与えている。



【北部】

- 業況DI 値は▲28.3 と前回調査より12.3 ポイント悪化し、3地区で最もマイナス幅が増加している。全項目のDI 値がマイナスで推移しているが、特に採算が悪化したと感じている企業が多い。
- 来期の見通しは全ての項目がマイナスであるが、売上を除き、持ち直すと思われた企業が多い。特に業況が回復すると感じている企業が多い。

【中央部】

- 業況DI 値は▲43.9 と前回調査より9.5 ポイント悪化し、3地区で最も悪い数値となっている。前回調査に引き続き全項目で悪化傾向になっている。
- 来期の見通しは全ての項目がマイナスであるが、持ち直すと思われた企業が多くなっている。中でも業況について改善すると感じている企業が多い。

【南部】

- 業況DI 値は▲20.4 と前回調査より4.1 ポイント改善した。資金繰り以外は緩やかな回復傾向がみられる。
- 来期の見通しは全ての項目がマイナスであるが、持ち直すと思われた企業が多くなっている。特に売上について改善すると感じている企業が多い。

【製造業】「厳しい採算確保」

- **今期の業況** DI 値は、▲24.2 と前回調査より10.1 ポイント悪化している。原油高、製品単価の低下や製品ニーズ多様化への対応により利益の確保が難しくなっている。
- **来期見通し** 今期より全てのDI 値が改善傾向にあるものの、どの項目もマイナスを示している。
- **設備投資** 今期実施件数は4件あり、そのうち生産設備に対する投資が1件ある。また、来期計画件数は6件で、生産設備に対する投資が5件あり、厳しいながらも、受注の見込みがあることがうかがえる。

【建設業】「大雪等の影響で弱い動き」

- **今期の業況** DI 値は▲10.4 と前回調査より23.1 ポイントの大幅な悪化している。売上・採算・資金繰りも悪化傾向に転じている。官公需要の停滞や大雪による作業延長の経費掛かり増しなどが影響している。
- **来期見通し** 資金繰りはマイナスを示しているものの、その他DI 値は今期より改善傾向にある。
- **設備投資** 今期実施件数は5件あり、そのうち不動産や建設機械に対する投資が3件ある。また、来期計画件数は9件で、不動産や建設機械に対する投資が3件と、先行き不透明な状況だが、受注の見込みがあることがうかがえる。

【小売業】「足踏み状態が続く」

- **今期の業況** DI 値は、▲53.1 と前回調査より5.2 ポイント改善している。売上・採算・資金繰りも改善傾向にあるものの、他の業種と比べ悪化企業の占める割合が高い。長引く需要の停滞や大型店への購買力の流出などが影響している。
- **来期見通し** 売上を除いたDI 値が今期より改善傾向にあるものの、マイナス値となっており、依然厳しい状況が続くと予想した企業が多い。
- **設備投資** 今期実施件数は7件あり、そのうち販売設備に対する投資が4件ある。また、来期計画件数は6件で、販売設備に対する投資が1件と、先行き不透明な現状に現状設備で対応している企業が多数見られる。

【サービス業】「不透明な先行きに不安」

- **今期の業況** DI 値は、▲25.9 と前回調査より3.8 ポイント悪化、その他DI 値も弱めに推移している。仕入単価上昇やニーズの変化、燃料費の高騰と併せ、大雪による客足の減少が影響している。
- **来期見通し** 今期より全てのDI 値が改善傾向にあるものの、どの項目もマイナスを示している。
- **設備投資** 今期実施件数は15件あり、そのうち建物・サービス設備に対する投資が6件ある。また、来期計画件数は13件で、建物・サービス設備に対する投資が7件あり、厳しいながらも、投資意欲のあることがうかがえる。

北部トピックス

- 平成19年の米代川水害で被災し、休業していた能代市二ツ井町の宿泊施設が4月中旬オープンに向け準備が進められている。新規の雇用が10名程度見込まれ、地域から大きな期待を受けている。
- 鹿角市の信販会社が事業を停止し自己破産申請の準備に入った。また事業資金を調達していた不動産賃貸業の関連会社も自己破産の申請をした。

中央部トピックス

- 1/10～2/10に開催された「んだっ鰯、にかほ市へ！」事業と新特産品「たらしよっつる」を活用した料理提供事業は多くのメディアに取り上げられ、参加店舗の売上向上と鰯のまちPRIに貢献した。
- 地域製造業の工場閉鎖が相次いでいるが、従業員の技術力の高さを評価し、空き工場を確保できることから誘致企業が事業を承継するなどの動きがある。

南部トピックス

- 横手市増田町の町並みや内蔵の「国の重要伝統的建造物群保存地区」選定作業が大詰めを迎えている。年内の選定と合わせ今年はデスティネーションキャンペーンの本番であり交流人口増が期待される。
- 建設業を中心に、豪雪による除雪や雪おろし等の依頼が例年以上に多く、受注額が伸びた。

【天気図】 前年同期比のDI値をもとに作成



※「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加企業割合と、減少企業割合の差を示す。

【調査要領】

1. 調査対象 (1)対象地区:全21 商工会地区 (2)対象企業数:294 企業 (3)回答企業数:294 企業 (回収率:100%)
2. 調査対象時期 平成25年1月～3月期を対象とし、調査時点は平成25年3月1日とした。
3. 調査方法 (1)商工会の経営指導員による訪問面接調査 (2)調査対象企業の抽出は「中小企業景況調査実施要領およびマニュアル」による。

4. 調査対象企業数内訳

業 種	対象企業数			合 計
	北 部	中央部	南 部	
製 造 業	22	18	23	63
建 設 業	18	18	17	48
小 売 業	25	28	26	79
サ ー ビ ス 業	41	31	32	104
合 計	106	90	98	294

5. その他

- (1)前年同期とは平成24年1月～3月期、前期とは平成24年10月～12月期、来期とは平成25年4月～6月期のことをいう。
- (2)本報告で主に使用する調査項目は、業況・売上・採算・資金繰り、設備投資の状況である。